

みんなさあ
おそろいで
おかげください

第92回 武士・土肥・鎌倉パレード

2022年
4月3日(日)

郷土の英雄 土肥実平を偲ぶ頼朝家の行脚

さねひら

頼朝旗挙げ武者パレード 《武者解説》

右兵衛佐源 頼朝 平清盛に敗れた源義朝の三男で、伊豆蛭ヶ小島に流れ20年。治承4年(1180)34才の時に平家討ちの兵を挙げる。土肥実平に助けられ初めての武士政権、鎌倉幕府を樹立する。

頼朝が流された蛭ヶ小島の豪族北條時政の娘で、頼朝の妻となり、二代頼家三代実朝将軍の母。

相模國(現:中井町)の豪族中村宗平の次男で、土肥郷(現:湯河原町)に住み、石橋山合戦後の数々の平家討ちの戦で活躍し、鎌倉幕府創建に貢献した郷土の英雄。実平の妻だが出生や名は不明。頼朝主従が土肥の山々に潜んだ時に食糧を届け、「さかさかし賢々し」女房として、実平逝去後には頼朝に面会している。

土肥次郎 実平 逃平は中村一族の次男であった土肥実平の長男。父を助けて転戦し戦功から、早川荘(現:小田原市)や沼田荘(現:広島県三原市)を統治して小早川氏の祖となる。弟は武蔵國新開忠氏(現:深谷市)の養子となり、子孫は戦国時代に阿波國牛岐城主となる。中村景平と盛平は、土肥実平の兄弟である中村本家の中村重平に代わり参戦した長男次男。

土屋三郎 宗遠 いざれも中村一族として参戦した。

土肥実平の実弟で、平塚市土屋に所領を持ったのが土屋宗遠で、その子が土屋忠光。三浦義明の弟で土肥実平の妹を妻として平塚市岡崎に住んだことから岡崎氏と名乗って、実平と共に頼朝の信頼を得て活躍したのが岡崎義実。その長男が平塚市真田に住んだ佐奈田与一であり、次男は土屋宗遠の養子となった土屋義清であり、宗遠の実子の忠光と協力して中村一族として平家討ちにあつた。陶山・腰巻は佐奈田家の郎党として石橋山合戦で、若く与一を助けようとしたが共に戦死するなど忠義の家来である。

北条四郎 時政 頼朝の妻である政子の父と政子の弟。伊豆の豪族として若き頼朝の将来性を見抜き一族を挙げて支援した。鎌倉幕府は源氏三代の後、執権として北条氏が政権を担ったが、その初代と二代である。



治承4年、頼朝の旗挙げに闘った武将や妻たちを再現したパレードです。子供武者も加わり、春爛漫の湯河原を楽しんでください。

安達藤九郎 盛長
工 薩 介 美 光
狩野 五郎 親 光
田代冠者 信 綱

頼朝の乳母である比企尼の娘を妻とする藤九郎は頼朝が伊豆に流されて以来、その成長を助けた。また伊豆国第一の豪族工薩介は石橋山の帰路、足手まといを嫌い自決したが、介錯した狩野五郎は工薩介の実子であり、平家討ちに戦功をあげたが奥州討ちで戦死。工薩介の娘の子である田代信綱は承久の乱の戦功から大鳥荘(現:堺市)も与えられた。

天野 藤内 達景
宇佐 美兵 次実政
仁田 四郎 忠常
加藤 次 介 勝 眞
義勝坊 中 四郎 惜重
永江 健人 頼隆
堀 藤次 親家

三島大社祭礼の晩に旗揚げした時から参戦した伊豆の豪族たち。いずれも石橋山の戦いに参加した。義勝坊は修驗道を修めた僧兵であり、後に毛利氏に繋がる永江頼隆と同じく頼朝に仕え、天野荘(現:伊豆の国市天野)。宇佐美(大見)実政は大見家赤の子(現:伊東市宇佐美)。仁田氏は仁田荘(現:函南町仁田)に子孫在住。加藤次は工薩介の子で狩野(現:伊豆市)に住み、中四郎は石橋山で以仁王の令旨を高く掲げ勝利を鼓舞する。また堀親家も多くの戦いに参戦したのら、二代将軍頼家に仕えて北条時政による頼家閉込めを防せごうとしたが殺害されるように、頼朝を支えて平家討伐や幕府創設に活躍した武将だが、頼朝死後は北条氏に押さえ込まれた。

佐々木太郎定綱
佐々木次郎 駿 稔
佐々木三郎 駿綱
佐々木四郎 高綱

近江源氏(現:滋賀県)の名門、佐々木秀義の子、4兄弟。「平治の乱」で破れて奥州へ下る際、沼垂重国(現:綾瀬市)に面倒を見てもらい成長する。三島大社祭礼後の頼朝旗揚げに参加し山木館を襲う。馬術・弓道に優れて平家討伐に力をふるう。特に四郎は宇治川合戦で墨磨に乗り棍原景季と池月に乗り競い、一番乗りしたこと有名。

大庭 平太 景義
豊田 五郎 景後

相模國第一の豪族で大庭御厨(現:藤沢・茅ヶ崎市)を支配した大庭景宗の長男が景義で、彼が保元の乱で負傷したことで家督を譲られた三男の大庭景親は石橋山平氏軍の大将となつた。次男の景俊は豊田荘(現:平塚市)の領主であり、大庭氏は景義・景俊が源氏方、景親・侯野景久が平氏方と兄弟4人が別れて戦つた。

梶原 平三 景時

石橋山では平家方大将大庭景親と従兄弟であり、頼朝軍と対戦するも山中に隠れた頼朝らを嘘を言って逃がした。後に頼朝から土肥実平と共に平家征討の惣追捕使等を務める。



生
死
と
越
え
、
沈
す
る
者
を
冷
静
に
見
て
お
り
ま
で

実平主従の土肥郷十日間

土肥会/〒299-0303 神奈川県湯河原町城堀252 城願寺内 TEL070-5581-1012

例年4月第一日曜日に開催

源平合戦の必勝祈願 五所神社
鎌倉へ出陣、初戦石橋山合戦
鎌倉へ行行列
武者パレード
源平合戦没者供養の城願寺「土肥祭」

歴史の道

平安時代の末に「土肥郷」と呼ばれていた湯河原の地は坂東八平氏のひとり、土肥次郎実平が今の西暦一一八〇年、治承四年八月十七日、伊豆の蛭ヶ小島での源頼朝による平家追討の鎌倉を領主として支配していました。湯河原駅が土肥の館の跡で、裏山の城願寺は実平の合戦を指揮したと云われます。伊豆での挙兵後、ここ土肥館で、頼朝と時政・実平騎余で出陣したもの、石橋山合戦では三千騎余に逃りました。(実平七十三歳、頼朝三十四歳と伝ります)日本歴史の中での土肥郷の十日間が中世の武家政治発祥の機縁になつたのです。まさにその時歴史が動いた!この地で、その後の草氏・信長・秀吉・家康に連続と武家の歴史の流れを偲んで下さい。



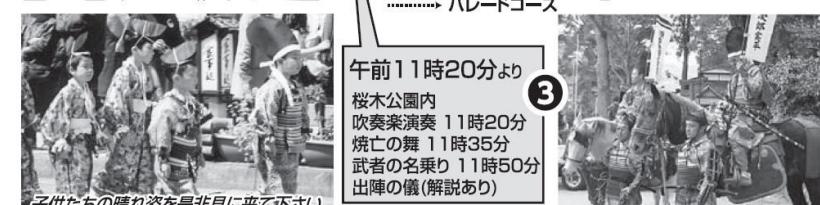
勇壮な鎌倉武将の隊列を鑑賞ください

この武者パレードは史実にもとづき伊豆蘿山より土肥郷へ、更に石橋山合戦へ出陣するものです。



城願寺: 13時40分より
土肥実平・頼朝主従法要・
焼亡の舞奉納・墓参など、
一般参加墓参など、
お出掛け下さい。

パレードは、五所神社前~桜木公園間
パレードコース



◆第92回武士パレード

期日 令和4年4月3日(日) 荒天中止(小雨決行)
五所神社前 神事必勝祈願 午前9時
湯小グランド 湯河原中学校吹奏楽部 午前9時10分
湯小グランド 燐の舞 午前9時25分
湯小グランド 武者の名乗り 出陣の儀 午前9時40分
五所神社前~桜木公園 武者行列 午前11時~

◆第92回土肥祭

期日 令和4年4月3日(日)
会場 城願寺 式典、法要、墓参
午後1時40分~3時 雨天決行

土肥会では会員の募集を行っています。
(年会費 1口2,000円)
また、会の円滑な活動を推進するために、協賛金の募金をしています。ご協力お願いします。

土肥祭 七騎堂前での法要



土肥一族墓所 墓参